「このまちが、いい。」と選ばれるまちに――。

令和７年度決算のここに注目!!

※万円未満四捨五入

健康づくりでポイントGET! 健康推進サポート事業



「脳にいいアプリ」で健康維持

健康増進・疾病予防・介護予防を目的に、生活行動に対してポイントを付与し、セルフマネジメント（自分で自分を管理すること）の促進を図った。決算額は１３６万円で国の交付金を活用。

問 利用者が増加しているが、事業の効果は。

答 **健康課長**
町民のセルフマネジメント向上に加えて、健康づくりや介護予防教室への継続参加率の向上にもつながっているのが最大の効果。

楽しみながら健康づくりができ、毎日続ける励みになります。



赤田　光代 さん

議会の視点

●**インセンティブの充実**
現代社会に合致した手法と評価する。
町民の健康増進のためさらなる利用者増を期待したい。

上水道事業会計 水道の有収率を引き上げる取組





令和7年度の有収率は令和6年度と比較すると2.82ポイント上昇した。
漏水による水の無駄を最小限にとどめる努力が必要である。

※有収率とは？
浄水場から配水した水のうち、漏水などで失われず、水道料金の収入につながった水の割合のこと。

問 有収率が年々上がってきている。現在91.87%だが、今後、さらに高める取組は。

答 **上下水道課長**
令和7年度では光正寺・井野地区など観音浦水系で合わせて28kmの漏水調査で、４か所の漏水が発見されたため修繕を行った。
漏水調査は4年度から行っており、今後も継続して取り組んでいく。

議会の視点

●**有収率向上は漏水解決が鍵**
有収率は年々上がっている。今後の漏水調査によって、さらなる向上に期待。

脱炭素社会の実現に一役 EV公用車購入事業


EV公用車

脱炭素化社会の実現に向けた取組の一つとして、リース満了を迎える公用車を電気自動車へ入れ替えた。
またこれに伴う電気自動車専用の充電設備も購入。
決算額は305万円で、国の補助金を一部活用。

議会の視点

●**公用車の導入効果**
EV公用車の今後の導入にあたっては、国の補助金や脱炭素推進事業債を活用し、経費の抑制を図りながら、今後も環境に配慮した取組を進めてほしい。

問 EV公用車3台に対し、屋外充電コンセントを5基整備しているが、今後のEV公用車の導入計画は。
また、燃料費高騰や環境負荷の低減を踏まえたEV導入による費用対効果は。

答 **管財課長**
今後の車検やリース更新時に導入を検討し、導入の際は国の補助金などを活用する予定。
費用対効果としては、燃料費や維持管理費の削減が期待される。

今後の事業成果に期待!

地域防災（機能別消防団員を募集）

令和7年度の火災件数は5件と例年より多く、これに伴い消防団の出動回数も増加した。
町は、火災予防の啓発活動などを担う機能別消防団員の募集チラシを作成し、企業への案内を進めている。
今後は、機能別消防団員の募集を積極的に進めていくことを望む。

公共交通の利用促進

のるーと宇美については、町民が実感できるサービス向上を図るとともに、高齢者や免許返納者、通勤・通学者など、必要な人が利用しやすい公共交通の確保が重要。
現在は、西鉄バス・太宰府市・宇美町の3者で利用促進に取り組み、ギャラリーバスなどを実施。今後も3者で協議し、さらなる利用促進とサービス向上を図ることを望む。

志免宇美線用地取得を推進

都市計画道路志免宇美線街路整備事業の第2期工事の用地取得率は、令和8年度当初時点で１１,０１６㎡。取得率は66.4%。
道路改良工事は、令和8年10月中旬から平成公民館付近を着手予定。
今後、井堰・橋梁下部工にも着手する予定。
引き続き用地取得を進め、早期の完成を望む。